

令和 7 年度一般会計当初予算のポイント

Ⅰ 令和 7 年度一般会計の姿

- ★ 令和 7 年度一般会計当初予算の規模は、対前年度比 54 億 7 千万円・7.5%増の 785 億 7 千万円。過去最大規模の予算計上。

	R7	R6	R5
当初予算額	785 億 7 千万円	731 億円	684 億 4 千万円
対前年度比	+7.5%	+6.8%	-3.3%

なお、国の令和 7 年度一般会計予算伸び率 +2.6%
令和 7 年度地方財政計画（通常収支分見込み）伸び率 +3.6%程度

Ⅱ 歳入

- ★ **市税**は、市民税、固定資産税等の増収が見込まれ、対前年度比 12 億 2 千万円・5.7%増の 228 億 4 千万円。過去最高の税収見込み。

	R7	R6	R5
当初予算額	228 億 4 千万円	216 億 2 千万円	223 億 8 千万円
対前年度比	5.7%	-3.4%	+1.3%

- ★ **地方交付税**のうち、普通交付税においては、本市における基準財政需要額及び基準財政収入額の推計により、特別交付税と合わせて前年度比 7 億 9 千万円・5.1%増の 162 億 8 千万円。

- ★ **市債**は、合併特例事業債の終了や地方財政計画に沿った臨時財政対策債の皆減等により、対前年度比 3 億 6 千万円・10.5%減の 30 億 5 千万円。

- ★ **市債借入残高**は前年度末見込み額 436 億円に対し、借入額 30 億 5 千万円、償還額 59 億 5 千万円を反映、令和 7 年度末見込み額 407 億円、29 億円の減。

令和 4 年度末 464 億円

※**臨時財政対策債除く市債残高**

令和 7 年度末見込み額 251 億円

令和 4 年度末 263 億円

- ★ **財政調整基金繰入金**は、対前年度比 18 億円増の 51 億円を計上。

Ⅲ 歳出

- ★ **消費的経費**は、対前年度比 44 億 6 千万円・8.1%増の 591 億 5 千万円。**投資的経費**は、対前年度比 2 千万円・0.3%減の 54 億 5 千万円。**その他の経費**は、対前年度比 10 億 4 千万円・8.0%増の 139 億 7 千万円。

※消費的経費について

- ・**人件費**については、主に一般職給料の増額等により、対前年度比 3 億 7 千万円・2.9%増の 129 億 6 千万円。
- ・**物件費**については、住民情報システム標準化事業費、校務デジタル化促進事業費の増額等により、対前年度比 11 億 8 千万円・11.8%増の 111 億 6 千万円。
- ・**扶助費**については、児童手当支給事業費、介護給付費等給付事業費の増額等により、対前年度比 24 億 1 千万円・13.0%増の 209 億 5 千万円。
- ・**補助費等**については、松阪市民病院事業会計繰出金の増額等により、対前年度比 4 億 7 千万円・3.7%増の 131 億 4 千万円。

※投資的経費について

- ・**普通建設事業費**については、松阪市民文化会館施設整備事業費、私立保育園施設整備費補助金の減額等により、対前年度比 2 千万円・0.3%減の 54 億 4 千万円。

※その他経費について

- ・**公債費**については、対前年度比 5 億 6 千万円・10.1%増の 60 億 9 千万円。
- ・**積立金**については、公共施設マネジメント基金積立金の増額等により、対前年度比 5 千万円・49.2%増の 1 億 4 千万円。
- ・**繰出金**については、主に、後期高齢者医療事業特別会計繰出金の増額等により、対前年度比 5 千万円・0.8%増の 70 億 6 千万円。

IV 主な財政指標

★ 一般財源総額

454 億 1 千万円（令和 6 年度＝437 億 6 千万円 対前年度比 ＋3.8％）

なお、地方財政計画（通常収支分見込み）上の対前年度比 ＋3.6％程度

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、臨時財政対策債と県からの交付金の合計をいう。

★ 一般財源比率

57.8％（令和 6 年度＝59.7％）

なお、地方財政計画（通常収支分見込み）では 69.6％程度

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税と県からの交付金の合計をいう。